知事賞　「絵画・デザイン」

にじいろのうみ

織田　春伸　小１（鳥取市）

海の中や海底の地中に生活しているたくさんの種類の生き物たちを明るい色調でカラフルに描いている作品です。この海の隅から隅までいろいろな種類の生き物を共存させ、その生き物たちを水彩絵の具やコンテ、カラーペン等を使い分けて、楽しみながら仕上げています。それぞれの生き物の力強い営みと豊かな色彩の集合体が「にじいろの海」を私たちにアピールする作品です。

未来の世界

安部　遥日　小３（米子市）

私たちの未来はどんな世界になっているのか。それを自由に想像し、夢いっぱいに描いた楽しい絵です。クラゲのようなゴンドラが和紙で表され、温かでユーモラスな雰囲気を出しています。人間や動物、ロボットが仲よく共存している未来。絵のすみずみまで楽しいアイデアにあふれ、夢が広がってきます。

今年も上出来！

望月　彩永　小６（米子市）

題名に表されているように、梨を収穫する様子が画面に大きく描かれており、見る人の注目を集める作品です。梨の丸みのある質感を表すために筆先の流れを意識したり、画面の手前と奥の葉の描き方を変えて遠近感を表したりしています。細部に注目すると、人物の毛の感じを丁寧に描き、鮮やかな緑や人物の肌の表現に、いくつかの色を重ねる工夫をして明暗をつけています。作者が絵と向き合い、まとまりのある作品に仕上げています。

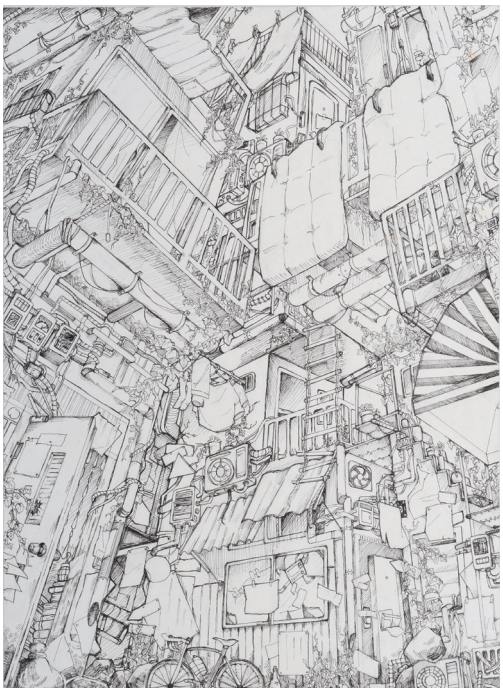
知事賞　「絵画・デザイン」

オニヤンマ空高く

特別賞

山根　宗一郎　中１（鳥取市）

まずは、ダイナミックな構図が目を引く作品です。そのダイナミックさは、オニヤンマの大きさや角度、画面に入りきらないほどの羽、また俯瞰して描かれた風景と大空高く羽ばたくオニヤンマとの描き分けによって強く感じさせるものとなっています。作者ならではの独特な視点、正確な描写、色の明るさ、鮮やかさなどを駆使して表す遠近感、そしてそれを描き切り、画面にまとめる力、総合的に非常に見どころの多い作品です。



私の魔窟

谷口　紗菜　中２（鳥取市）

圧倒的な世界観に惹きこまれる作品です。下から見上げた難しい構図を描ききる確かな構成力やペン１本の強弱で立体感や陰影をも描き上げる豊かな表現力からは、作者の力量の高さがうかがえます。割れた窓、半分開いた扉、からみつく蔦…何かの気配を感じるようなこの場所はどこなのか、何を意味するのか、題名に込められた作者のメッセージも気になります。これからも自分の世界を追求し続けていってほしいです。

夏の香り

中原　来実　中３（米子市）

縁側に置かれたラムネの瓶を写実的に描いた作品です。ラムネの瓶についた水滴と、瓶の影に映る強い日差しを感じさせる光の表現が巧みで、夏の暑さと冷えたラムネの感覚までもが伝わってきます。庭木の葉の色味を抑え、全体的にまとまりと落ち着きを感じさせます。小品ながらも、作者の観察力と描写力の確かさを感じます。

教育長賞　「絵画・デザイン」

ワニといっしょに日光よく

井上　怜桜　小２（鳥取市）

太陽の光をいっぱいに浴びて、日光浴をしている様子は、すごく気持ちが良さそうです。

ちょうちょの気持ち

奥田　皐暉　小２（鳥取市）

色づかいが大変あざやかです。きれいな花の周りをたくさんのちょうがとび回っています。

はばたけ！にじ色トンボ

太田　岬　小２（米子市）

大きな虹色をしたトンボが力強く羽ばたいています。つい、応援したくなります。

たくさんのほおずき

村上　隼二　小３（鳥取市）

墨で描かれたほおずきは、線に迷いがなく勢いがあります。色も鮮やかで目を引きます。

教育長賞 「絵画・デザイン」

フクロウと月

山根　優芳　小３（米子市）

美しい翼のフクロウとその背景の木にかかる月、見上げる人との構図が素晴らしいです。

にじ色のライオン

花池　志緒理　小４（倉吉市）

貼り絵の紙は、ローラーを重ね色付けされ、にじ色のライオンの立髪を引き立てています。

鯨

定岡　音葉　小５（米子市）

淡い青を基調とした透明感のある作品です。鯨の力強さより、優しさや優雅さを感じます。

夕暮れの東郷池

加藤　弘大　小６（倉吉市）

東郷池の夕暮れ時の静けさと燃えるような夕日の色が鮮やかな色彩で表現されています。

教育長賞　「絵画・デザイン」

頂上へ

伊藤　晶子　小６（米子市）

頂上（ちょうじょう）に向かって進んでいく構図と表情から、楽しい登山の一場面が想像できる作品です。

ぼくの頭の中

岩倉　葵　中１（米子市）

問題を解く「ぼく」。まさか頭の中にこんなものが…。意外性を形にする技術があります。

海岸にひっそりと咲くオニユリ

中島　玲奈　中１（米子市）

この花をみつけた作者自身にしか表せない風景を、手前から奥まで描き切っています。

猫カフェにて

樋口　里菜　中２（米子市）

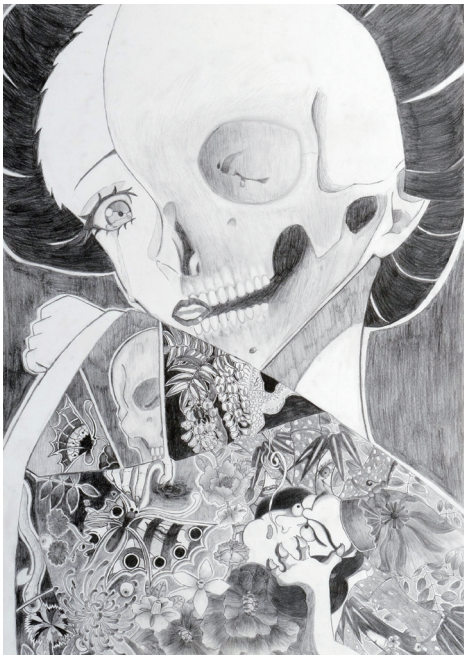
丁寧に描かれた色の重なりが美しい作品です。猫がまとう優しい空気感も魅力的です。

教育長賞 「絵画・デザイン」

イカ焼きと弟の夏

山本　朱樹　中２（倉吉市）

豪快な画面構成とかぶりつく人物の表情に惹きつけられます。イカの表現も見事です。



華に導かれて

富谷　悠生　中３（米子市）

独創的な着物の柄が、鉛筆の丁寧な線と濃淡で描かれた完成度の高い作品です。

欲望

前田　わかな　中３（琴浦町）

暗闇に描かれた迫力ある鶏頭が目を引きます。欲望というタイトルも気になります。

知事賞 「書写」

たか

山根　知夏　小２（大山町）

筆の根元まで、墨をしっかりと含ませて、うるおいのある線で書いています。筆先を整えて美しく書き始め、一文字の中の線のつながりを大切にし流れるように書き上げており心が洗われるようです。字形もよく整い線に温かみがあるとても魅力的な作品です。

名前もしっかりと書かれていて素晴らしいです。今後の成長が楽しみです。

未来

米原　花恵　小４（米子市）

字形のよく似た二文字を上手くまとめています。横画、縦画、右はらい、左はらいを統一感を持って書くことで、ゆるぎない作品に仕上がりました。墨もしっかりとつけて、うるおいのあるのびやかさも感じられます。堂々とした書きぶりは、作者の明るく力強い未来へ向けての決意を想像させます。横画の長い線をもう少しすっきりと細く引くとさらによくなるでしょう。

主役

細田　結月　小５（米子市）

画数の多い文字と少ない文字をうまく書いています。「主」は少し小さめに太さを出してどっしりと、「役」は、線の太さを落として大きく、そして両ばらいをのびやかに引いて華やかさをかもし出しています。特にはらいは、しっかりと方向性を定め呼吸を整えて、スーッと引いた作者の息づかいが感じられます。言葉どおり「主役」の存在感たっぷりの秀作です。

知事賞 「書写」

天命

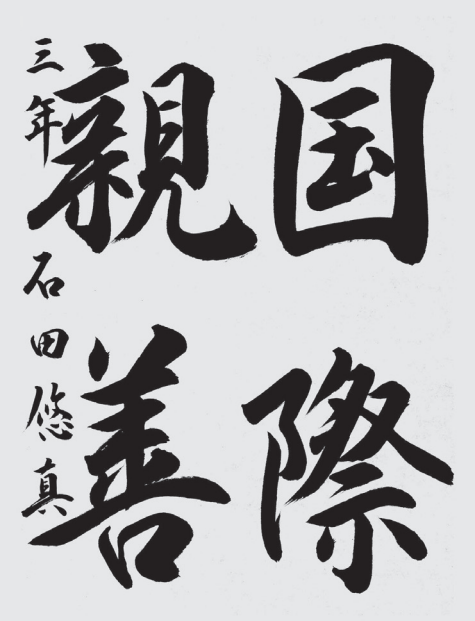
田中　真由　中１（米子市）

中学１年生ながら、しっかりと字形をとらえ、のびやかな筆づかいで作品を仕上げました。基本的な筆づかいを大切にしながら、実に堂々と書き上げ、上手さと力強さを感じる作品となりました。普段から文字の大きさや運筆を意識しながら作品作りに臨んでいることがわかります。

万葉の郷

槙野　可望亜　中２（米子市）

落ち着いた柔らかな筆づかいで、漢字とかなの文字の大小の変化を巧みに表現しました。行書の特徴である柔らかな筆脈をしっかりと意識しながら、のびのびと書き上げています。また、余白を意識しながら文字を配置することで、明るくすっきりとした作品に上げました。



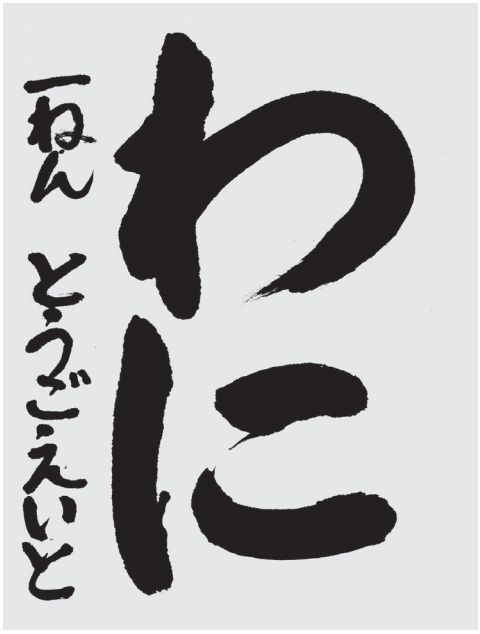
国際親善

特別賞

石田　悠真　中３（米子市）

「国際親善」という画数の多い四文字の題材を、半紙全体を生かしながらバランスよく配置しました。字形や筆づかい、運筆に優れ、全体の構成のバランスも秀逸です。幼いころから研鑽（けんさん）を積み重ね、習得した書写の技術を思う存分発揮した作品といえます。これからもぜひ書写の技術に磨きをかけるとともに、「書の心」をいつまでも大切にし、活躍してほしいと思います。

教育長賞 「書写」



わに

藤後　瑛心　小１（大山町）

大きな字で力強くのびのびとした作品です。「わ」の曲がりやはらいも上手にまとめました。

さんご

林原　みか　小２（境港市）

三文字のひらがなをバランスよく書いています。筆づかいに気をつけながら書いています。

ゆめ

森田　琴音　小２（大山町）

筆づかいがとても上手です。「め」の長い二画目も最後までていねいに書いています。

つりざお

髙梨　凛ノ介　小３（境港市）

文字がぶつかりそうになりながらも、バランスよく書けました。筆の動きが柔らかいです。

教育長賞 「書写」

引力

濵田　結羽　小３（境港市）

忠実な筆づかいで一画一画を丁寧に大きく書くことができました。力強い作品です。

大地

山根　航大　小４（米子市）

二文字の配置がよく、力強くしっかりとした線で形もよく整えて書けました。

太陽

片岡　彩希　小６（米子市）

紙面を有効に使い、のびやかな線質で書けました。名前も大変立派に書けています。

風波

藤原　朔太郎　小６（米子市）

一点一画が充実し、のびやかな線質で書けました。二文字の配置も素晴らしいです。

教育長賞 「書写」

発芽の時

美甘　唯　小６（大山町）

確実な筆づかいで四文字をバランスよく紙面におさめています。はねやはらいも、とてものびやかです。

世界

塚田　咲月　中１（米子市）

行書らしい線の丸みを意識して書いていて、まとまりのある作品になりました。

心技

角森　彩織　中１（米子市）

腕を大きく動かし、ゆったりと書かれた作品です。名前も丁寧に書けています。

誠意

山本　百恵　中１（米子市）

一点一画気持ちを込めて書いたことがとても伝わってくる作品です。

教育長賞 「書写」

芸術

佐々木　由愛　中２（米子市）

点画の連続を意識して書いています。全体的にスピード感のある作品となりました。

散歩

坂本　有　中２（琴浦町）

行書の特徴である点画の丸みをとても感じられる作品となりました。

平和条約

河上　由依　中２（大山町）

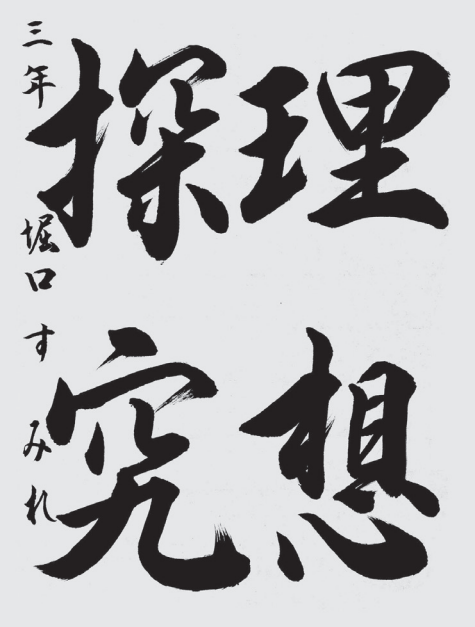
次の点画につながるように運筆のリズムを意識したことが伝わってくる作品です。

平和宣言

竹田　華楽　中３（米子市）

文字の細部にまで気を配っており、行書らしい筆づかいのできた作品です。

教育長賞「書写」



理想探究

堀口　すみれ　中３（米子市）

線の太細の変化をつけて勢いよく堂々とした作品に仕上げました。

書　写

講　評

（講評及び作品評は各部門審査員が執筆）

●小学校

今年は、2,114点の作品が寄せられました。学校の書写の時間に、塾で、家庭でと、書く場所はさまざまでも、筆にたっぷりと墨をふくませて、半紙に一画目を書く瞬間は、とても集中していたのではないかと想像します。一点一画をおろそかにすることなく、名前を書き終えるまで丁寧に書いた作品がたくさんありました。低学年の硬筆で「とめ」「はね」「はらい」など基本の筆づかいを学習しますが、毛筆になると硬筆でできていたことが柔らかく弾力のある筆では、うまくできないこともあるでしょう。そんな時には、筆で書くことになれることが、上達する一つのポイントだと思います。これからもたくさん書いてください。選外の作品の中には、墨が作品にぽたぽたついたりよごれていたりしたものが多くありました。清書、展覧会に出品する作品はよごれたり、やぶれたりしないよう大切にあつかうようにしましょう。

●中学校

627点の作品が寄せられました。楷書の作品がやや多かったように思います。小学生書写で学んだことを中学一年生の初めに学び直します。そのあとに、行書を学ぶのが中学生です。楷書か行書か自分の書きたい文字にはどちらがふさわしいのか考えるのも美術展に出品する楽しさかもしれません。楷書が苦手だった場合でも行書を書いてみると、意外とのびやかな、やわらかい線で書けたりします。３年生はこの先手本だけでなく、中学校書写の教科書にも掲載されていますが、中国の古典、日本のかななどに触れ、表現の幅を広げて芸術としての書につないでいってくれることを期待しています。

●特別賞

「国際親善」中３　石田　悠真（米子市）

行書作品のお手本となる大変優秀な作品です。「国際親善」を半紙作品にまとめることは簡単なことではありませんが、迷いのないのびやかな筆運び、字形、筆脈も十分感じられる作品です。さらに、余白の美しさにも目をうばわれます。

「行書の楽しさ」を感じ、大人の書美にも目を向けることで、さらに書の世界が広がることでしょう。今後のますますの成長を期待しています。

知事賞　「写真」

ずっとともだちだよ

森　文太郎　小１（鳥取市）

さわやかな青空と白い雲を眺める５人の仲間からは、ストーリーが感じられます。楽しそうな会話や笑い声も聞こえそうで、撮影者の素直な目線に好感が持てます。同じ方向を向き、末広がりに寝そべった５人の配置が上手いです。足や靴からも友達との日常生活が垣間見えて、リアルさも伝わってきます。

目の中の仲間たち

田中　えな　小４（鳥取市）

応募作品の中でもひときわ目を引く大胆さ、インパクトの大きい作品です。よくここを切り取ったものと感心しました。瞳に映り込んだものを日常で見ることはほぼ無いので、これは写真ならではの醍醐味でしょう。瞳には数人の友達と背景も映っています。モデル、その友達、撮影者、三者の距離感も伝わる印象深い作品となりました。

妹のおやつタイム

野見　育生　小５（倉吉市）

妹さんの所作や足先の緊張感が気持ちを雄弁に物語り、大変な迫力を醸し出しています。また、踏み台にされた引き出しや、写されているもの全てに、日々の生活のリアリティと力強さが漲っています。構図も非常に良く、作品の要となる戸棚の垂直のラインがしっかり撮れています。

知事賞 「写真」

夏のおわりの海

特別賞

安達　陽人　中１（大山町）

太陽が反射し、白く輝く海面を画面の中心近くに配して、明暗のコントラストが印象的な作品をつくりあげました。遠くに霞む建物や、その向こうに見える山のデリケートな色調も魅力的です。海岸や海の色も、夏の黄昏の雰囲気をよく伝えています。

向かってくるものは

宮本　紗采　中２（倉吉市）

雲を眺めると、時に観察者の心情により色々なものに見えます。この作品は発見の秀作です。夕焼けに染まる空に、大きく翼を広げた雲の鳥が作者側に向かってくるような気がしたのでしょうか。

ホームセンターの駐車している車両と、向こうの山を越えて迫る雲の鳥のバランスがとても良いです。

release

小谷　空我　中３（鳥取市）

題名 release を辞書で調べると解放というような意味でした。何かから解放された３人の若者が夏の砂浜ではじけるような大ジャンプ。喜びのポーズをバッチリ決めていて、正に青春ど真ん中を表現した作品です。青空、浮かぶ夏雲、大地の砂、３人のシルエットをローアングルで連写された中の一枚の努力作品です。

教育長賞 「写真」

水あそびきもちー

国山　慶次　小２（大山町）

プリントがとてもきれいです。生き物の様な水の形も面白く、低めアングルで動きが出ました。

バックします。ご注意ください

高田　慈英　小３（鳥取市）

男の子の愛らしさ、抜群です。表情にも柔らかな日差しがほんのり。タイトルも素敵です。

きれいなクモ

小早川　羽瑠　小４（米子市）

ピントの良さが際立ちます。カラフルなクモと背景の淡い色彩が絵画の様に美しいです。

虹色のトンネル

谷口　朔　小５（鳥取市）

円環を重ねた構図が画面の奥行きを感じさせ、シャボン玉越しに現れた幻想的な世界へと、見る者を誘ってくれるようです。

教育長賞 「写真」

お手伝い

松本　瑛太　小５（日野町）

生活の実感がこもったスナップです。暮らしの記録としても意味のある作品です。

只今、反省中…。

大柄　真琴　中１（大山町）

あたかも怒られて閉じ込められているかのような一人と一匹。それぞれの魅力的な表情をよく捉えました。

見つけったっ♡

八橋　伍　中１（伯耆町）

光と影の扱いがうまく、腕の位置もよく考えられています。二人の表情が見えないことも、心憎い演出です。

涙と汗がにじむ１日

小池　穂高　中２（大山町）

夏休み終盤、課題に取り組む小学生の努力の一日がよく表現された作品です。思わず少年の文章を読みたくなります。

教育長賞 「写真」

真夜中の炎

富谷　ここの　中２（大山町）

暗闇と静けさの中で、薪とゆれる炎が見事に撮影されている作品です。
鑑賞していて心が穏やかになります。

夕日

原田　羚織奈　中３（鳥取市）

東郷池の夕日が黄金色に染まり、湖面、四ツ手網、空の雲の構図と色彩が素晴らしい作品です。

海岸通り

松本　隼人　中３（日野町）

ローラースケートを始めたばかりの少年の不安と慎重さが良く表現されています。防波堤に描かれた瞳と空のカモメも応援しているように感じる作品です。